

ソフトウェアエンジニアとして AIとの付き合い方の例

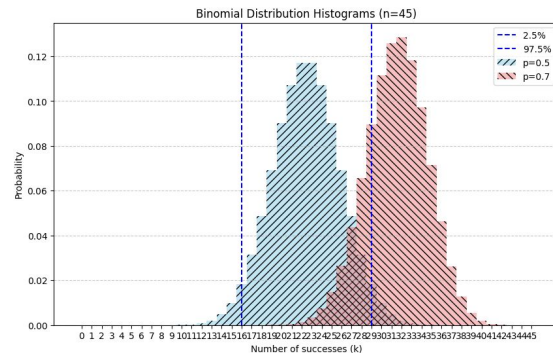
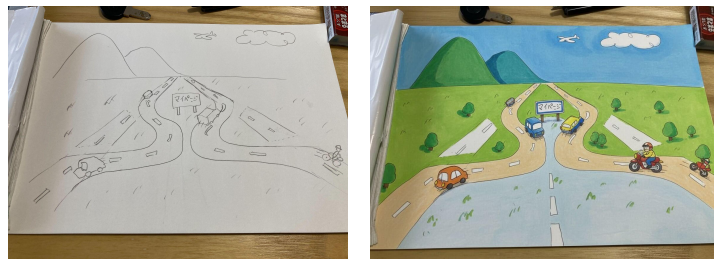
アジャイルプロセス協議会 会長
paiza株式会社
水越明哉

自己紹介

- 水越明哉
- アジャイルプロセス協議会会長
 - <https://www.agileprocess.jp/>
- paiza株式会社勤務
 - <https://paiza.jp/>
 - ソフトウェアエンジニア
- リーダー塾 第三期 卒業生
 - 2010年頃
- コミュニティ
 - 動画で学ぶデータサイエンス
 - <https://learning-data-science-from-youtube.connpass.com/>
 - SAFe5.0のエッセンス読書会
 - <https://agileprocess.connpass.com/event/372960/>
- 趣味
 - 競技プログラミング
 - 夜の散歩

生活でつかっているAI

- たぶん、普通の人より使ってなさそう(?)
- perplexity
 - 「今のおすすめの映画を教えて」
 - 「小学生向けなぞなぞを教えて」
 - 検索代わり
- 画像の加工
 - 「この画像を鳥山明風のイラストにしてください」
- Google Colaboratoryの中でグラフ作成
 - GeminiというLLMがサポートしてくれる



お仕事関係のAI

- paiza

- ITエンジニア向け国内最大の転職・就職・学習プラットフォーム
- <https://paiza.jp/>
 - paizaラーニング、学校フリーパス
 - エンジニア就活
- <https://ppg.paiza.jp/denno2088>
 - 電脳少女がコードをほめてくれる

- 社長のnote

- 片山良平@paiza代表
- <https://note.com/rk611>



仕事で使うAI

- Slackのhuddle(ミーティング)のAI要約
 - オンラインミーティングの要約を文章にしてくれる
 - 障害対応通話のログを残してくれる
- ZoomのAI要約
 - (個人的には使用していない)
 - 1on1をたくさんしている人が、テキストとして残せる
- ChatGPT、GeminiなどのLLM
 - 文章を考えてもらう、添削してもらう
 - 何かを教えてもらう、説明してもらう
 - 壁打ち
 - 相談、アイデアを聞いてもらう
 - (個人的にはやっていない)

仕事で使うAI(エンジニア編)

- GitHub Copilot
 - <https://github.com/features/copilot?locale=ja>
 - ちょっとコードを書いたら続き(っぽいもの)を書いてくれる
 - コードの調査、解説
- GitHub Copilot コード レビュー
 - <https://docs.github.com/ja/copilot/how-tos/use-copilot-agents/request-a-code-review/use-code-review>
 - レビュー中のコードの問題点を指摘してくれる
- Devin
 - Slack(テキストチャット)で依頼したらコードを書いてプルリクエストにしてくれる
- 期待していない回答、間違えていること、もよくある

AIを使っての現時点

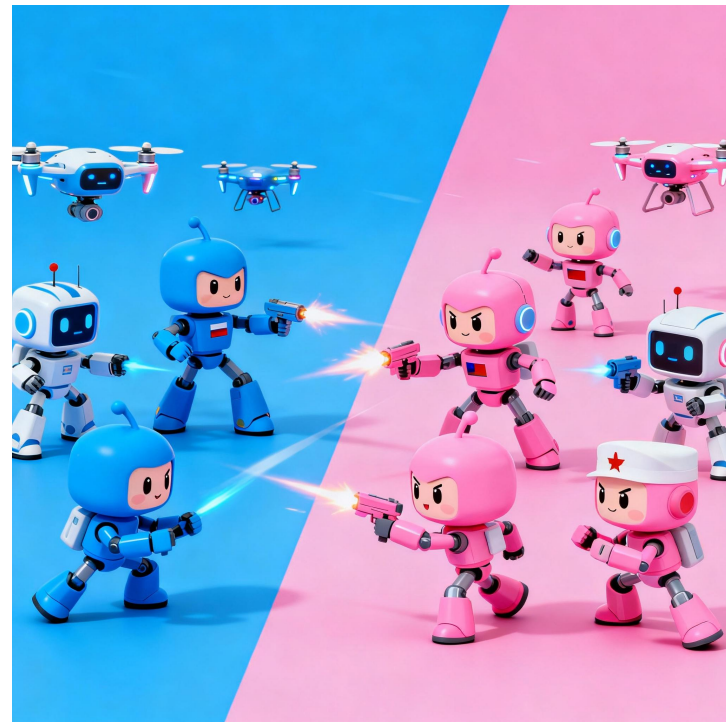
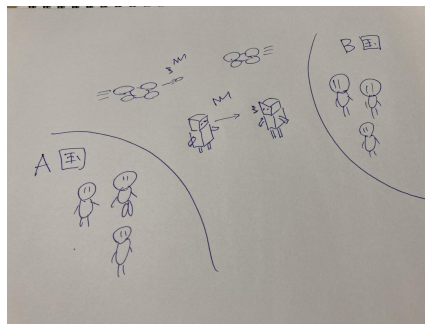
- とても便利
 - もっと便利になってくれそう
 - 電力は心配。
- 課題(?)
 - 人間の仕事を奪う？
 - シンギュラリティ？
 - AIの出力の責任はだれがもつのか？
 - 指導、レビューの課題

AIを使っでの現時点：人間の仕事を奪う？

- 活動写真弁士
 - 無声映画の上映中に、スクリーン横で映画の内容を実況で解説する人
 - しゃべる仕事は現在でもたくさんある。声優、アナウンサー、など。
- 先生、学者、教授
 - インターネットがあれば先生は不要？
 - インターネットに書いたり、動画を公開する人は必要。
- タクシー運転手
 - 自動運転でなくなる？
 - 接客、観光案内、など
- エンジニア
 - ？
- 絵師
 - ？

AIを使っでの現時点：シンギュラリティ？

- AIが人間を攻撃する？
 - (人間+AI) vs (人間+AI)になりそう
 - これはこれで全然安心できないけど。。



AIを使っでの現時点: AIの出力の責任はだれがもつのか？

- AIに作成依頼しても、それを使った人が出力の責任を持つはず、だけど
 - 現実には「AIに出力させました」と言い訳しながら出すこともよくある
 - 「AIに出力させました」と言わずに出して、突っ込んだら白状することもある
- 素人がAIで誤りを量産し、プロが後始末する地獄絵図
 - <https://note.com/rk611/n/nf22e638593aa>
 -

AIを使っの現時点: AIの出力の責任はだれがもつのか？

- 指導、レビュー

- 指導やレビューする側は、今後成長することを期待して指摘する事が多い。
- AI出力したものを指摘されても、心に響かない。成長につながらない。
 - インターネットに書いてあることをコピペした場合も同じかも
- 提出する側はAIを使って数が増えていく
- (指導やレビューする側: 自分がAI使えばいいか、と思って育てたくなくなる)

- 現実的な現在の課題だけど、解決できるはず

